

広域化による消防体制の充実強化

埼玉県 草加八潮消防局

1 草加八潮消防局の概要

草加八潮消防局は、草加市と八潮市の2市消防本部の広域化（一部事務組合の新設）により、平成28年4月1日から運用を開始した消防本部です。管轄区域は、埼玉県東南部に位置し、人口約33万人、面積約45km²を有しており、中川、綾瀬川など大小様々な河川が流れ、古くは穀倉地帯として栄えた地域です。現在、管内には、東京外環自動車道、首都高速道路、東武スカイツリーライン、つくばエクスプレス等の主要な交通網が整備されており、都心や関東郊外へのアクセスも便利な地域となっています。



草加八潮消防局の位置

構成市である草加市は、草加せんべいの知名度が高く、多くの方々に愛されています。また、綾瀬川沿いの草加松原は、おくのほそ道風景地として国指定名勝に指定されています。八潮市は、県内有数の工業地域であるとともに、平成17年のつくばエクスプレス八潮駅開業により現在も開発が進んでおり、街の様子も日々変化しているところです。



おくのほそ道風景地として国指定名勝に指定されている草加松原

このような管轄区域の下、1本部2署4分署、職員数328人の体制で消防業務に当たっています。

2 消防の広域化に至る経緯

平成18年の消防組織法一部改正を受け、埼玉県では県内を7ブロックに分けた広域化推進計画が策定され、草加市と八潮市は、第6ブロック（6市1町）に位置付けられました。同ブロックでは、定期的に勉強会を開催していましたが、平成24年度に入り、埼玉県から2市での広域化について打診を受けました。地理的にも市街地が連続しており本部間の距離も約3kmと近いこと、更には消防力向上のための一手段として検討する価値があったことなどから、平成25年4月に「草加市及び八潮市消防広域化協議会」を設置しました。協議を進める中で、平成27年1月に広域消防運営計画を策定、同年3月に両市議会において広域化の議決が得られました。その後、組合運営に必要なシステム構築、例規整備その他消防業務を開始するための移行準備を進めてきました。そして、平成27年10月に草加八潮消防組合を設立し、本年2月の組合議会定例会において事務の共同処理に必要な条例案等53件の議決を受けた後、4月から広域体制の運用開始に至ったものです。



協議会の様子

協議会設置から組合設立までの2年6か月にわたる調整では、合計103回の会議を行い、財産の取扱い、給与、負担割合など127項目の調整を行いました。今回の広域化に当たっては、単独消防間で一部事務組合を新設した

ため、困難な面も数多くありました。一例を挙げると、これまで市で行っていた人事給与、財政、議会、監査等の事務が広域化後に新たに加わり、これらを実務経験の少ない消防職員が行うため、円滑に運営できるかといった課題もありました。これに対しては、広域化前に職員を市に派遣して実務研修を受けさせることや、一部の事務を構成市に委託するなどして対応を図り、4月の業務開始に向けた準備を進めてきたところです。



設立許可書交付式
(左)田中草加市長 (中央)上田埼玉県知事 (右)大山八潮市長



草加八潮消防組合発足記念式典

3 広域化の効果

広域化による効果としては、まず、増加する救急需要への対応が挙げられます。具体的には、管理部門の統合により効率化された人員を現場へ再配置し、広域化前、救急専従8隊、乗換運用2隊となっていた救急隊のうち、乗換運用1隊を専従隊とすることができました。このことにより、救急専従隊1隊当たりの管轄人口が減少し、安定した出動体制を構築することが可能となりました。

次に、出動体制の強化が挙げられますが、従来の市境に捉われず、災害現場に最も近い署所から出動することで、現場到着時間の短縮が可能になりました。また、従来であれば出動しなければならなかった隊を次の災害に備えて待機させることも可能となりました。火災出動時を例にとると、これまでの草加市では待機隊が1隊、八潮市では0隊という状況でしたが、現在では4隊を待機させることが可能になり、厚みのある出動体制を構築することができました。

4 おわりに

広域化して約4か月が経ちましたが、一部事務組合運営のため、給与、会計、財政等、消防職員では経験の少ない事務を担うこととなった職員にとっては苦労の連続であり、連日、課題と向き合っているところです。現場部門では、これまで各市で培われた活動方針等があり、引き続き調整が必要な部分もありますが、双方の優れたものを取り入れることが可能であり、より良い活動体制が作れるものと確信をしています。また、組織が大きくなったことで、職員同士が切磋琢磨するなど、今後を担う若い職員を育てる環境整備ができたことも効果の一つとして実感しています。



広域化と併せて整備された指令センター

消防の広域化が実現した今、より一層、住民の方々が安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組み、「消防が広域化して良かった」と言ってもらえるよう、広域化の効果を十分に発揮するとともに、保有する限られた消防力を有効活用し、住民の安全安心に寄与してまいります。